

2017 フォーアツプ 高松研修会

公益財団法人 井之頭病院
1号館9階 大会議室

会員・賛助会員/¥1,000円
一般/¥1,200円
学生・当事者/¥500円

知っていますか?
精神科訪問看護の実践
～医療と福祉の上手な連携とは～

in 三鷹
2017
11/25・Sat

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

■研修会テーマ

「知っていますか？精神科訪問看護の実践 ～医療と福祉の上手な連携とは～」

■開催にあたって

精神障害者の地域生活支援を考えるうえで、在宅でのサポートはとても重要です。ヘルパーさんを利用し、暮らしやすい住環境を作っていくのはもちろんですが、ヘルパーさんや福祉事業所では知識が浅い医療面でのサポートは、日々の暮らしを健康的に暮らしたい精神障害者には欠かせない事柄と言えます。

近年、精神科訪問看護の需要は増えています。バイタル面や服薬管理のみならず、見守りや必要に応じた医療機関や地域の福祉事業所との連携など、精神科訪問看護のサポートが多岐にわたっているのがその理由かもしれません。その人の暮らしに寄り添いながらの必要な支援は、時に看護の領域を越え、福祉的な側面も持ち合わせる必要があります。

しかしながら、精神科訪問看護と福祉事業所との連携による生活支援は発展途上といえるかもしれません。「医療」と「福祉」という異なる領域が共に手を取り合い、お互いが「障害当事者の生活を尊重し支える」ことはどれ程出来ているのでしょうか。医療と福祉がお互いの立場を知り、より上手に連携していくためには何が必要なのでしょうか。本研修会は前後半の二部構成です。前半は精神科訪問看護ステーションの地域実践での生の声を聴くとともに、精神科訪問看護の仕組みや事業説明についてレクチャーを行います。後半はグループホームにおける住まいの支援と、就労移行支援における働く支援のお立場と、精神科訪問看護師の方とのお互いの連携について考え、疑問を投げかける意見交換を行います。

普段、あまり訪問看護とつながりのない事業所や、今後、精神障害者への訪問看護を行おうと思われているステーション、日々の支援で連携に困っている支援者など、様々な立場の皆様にご参加頂ければ幸いです。その人らしい暮らしを支えるために、医療と福祉はどのようにつながり寄り添うべきか、一緒に考えてみませんか。

■詳細

会場(詳細・アクセスマップは最終頁)

公益財団法人 井之頭病院 1号館9階大会議室

東京都三鷹市上連雀 4-14-1

JR 中央線・総武線「三鷹駅」南口より徒歩 10 分

参加費

会員・賛助会員 1000 円、一般 1200円、学生・当事者 500円

日時

2017年11月 25 日(土)

受付 12:30 開始 13:00

終了 16:45

詳細は右プログラム参照

定員 最大 100 名

■主催

特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ)

法人事務局 〒185-0022 東京都国分寺市東元町 4-1-14 17ヒテンハイム 102(担当:宮坂)

電話:042-313-9403 FAX:042-313-9407 メール:info@ami.or.jp

研修会事務局 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 5-26-13 2F NP0 法人このはガーデニング内(担当:近藤)

電話:03-6908-0285 FAX:03-6908-0686



NP0法人全国精神障害者地域生活支援協議会

■当日プログラム

●12:30	受付開始
●13:00	開会あいさつ
●13:10	精神科訪問看護の仕組みについて / 渡邊 乾 氏(訪問看護ステーション KAZOC)
●13:30	活動報告1 / 濱田 誠士 氏(訪問看護ステーション卵)
●14:00	活動報告2 / 三ツ井 直子 氏(訪問看護ステーション KAZOC)
14:30 休憩(15分)	
●14:45 パネリスト	パネルディスカッション「医療と福祉の地域連携」 濱田 誠士 氏(訪問看護ステーション卵) 三ツ井 直子 氏(訪問看護ステーション KAZOC) 渡邊 乾 氏(訪問看護ステーション KAZOC) 田中 由佳理 氏(介護サービス包括型グループホーム 遊牧舎) 山田 裕一 氏(就労移行支援事業所ジネス) 進行 近藤 淳(相談支援事業所ガーデニング)
●16:30	閉会あいさつ
	(終了後懇親会を開催いたします)

■講師 紹介

●渡邊 乾 氏 / 作業療法士(株式会社 Neighborhood Project 訪問看護ステーション KAZOC)

都内の精神科病院に就職し、日本の精神科医療の現実を知る。病院とすったもんだし窓際族として過ごす。2013年に精神科訪問看護ステーション KAZOC(かぞっく)を開設。同時にホームレス支援をするハウジングファースト東京プロジェクトに参加。ホームレス状態を経験した人の中で、精神疾患を持った人たちの在宅生活を維持継続する役割を担っている。

●濱田 誠士 氏 / 看護師・精神保健福祉士(株式会社 円グループ 訪問看護ステーション卵)

広島県出身。精神科病院で看護助手、准看護師として働きながら看護師となる。病棟で働いている頃から、退院後にどのような生活を送っているのか、なぜ再入院を繰り返すのかに疑問を持ち、精神科看護師として何ができるのかに向き合う。地域生活支援センターで非常勤職員としても勤務。日本社会事業大学を卒業した2009年より、訪問看護に臨床の場を移し現在にいたる。

●三ツ井 直子 氏 / 看護師(株式会社 Neighborhood Project 訪問看護ステーション KAZOC)

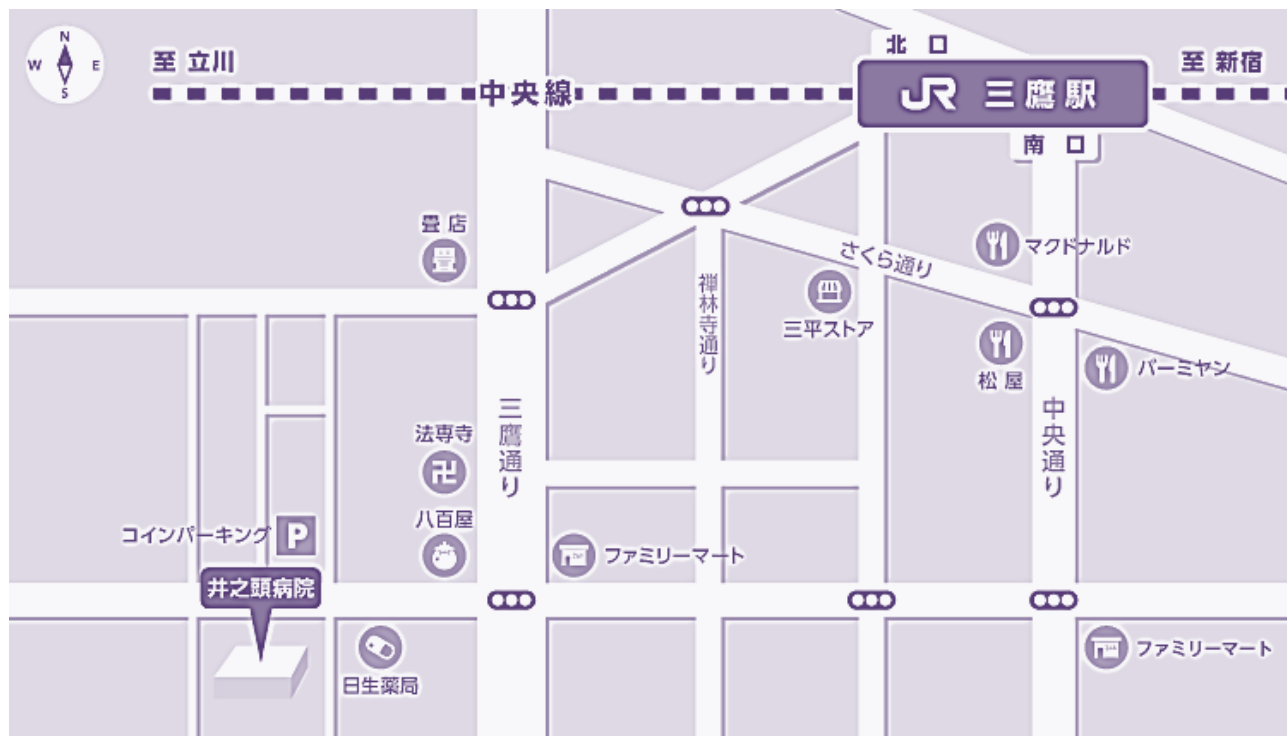
28歳で日本を出て、タイ・ネパール・インド・ヨーロッパからモロッコをバックパックを背負って歩く。タイ古式マッサージを習得し、YOGAや瞑想を学びながら、イスラエルのキブツで数年間生活。37歳で帰国。看護師免許取得後、都立松沢病院で5年間勤務。その後、訪問看護ステーション KAZOCにて毎日自転車を漕ぎながら、『オープンダイアログ』を勉強中。

●田中 由佳理 氏 / 精神保健福祉士(NPO法人ヒーライトねっと 介護サービス包括型 GH 遊牧舎)

現在の法人に就職するまでは東京都八王子市の精神科病院で訪問看護として勤務。その後、現在の法人に就職し4年目になる。ショートステイの専門部署の担当やグループホームの世話人を経て、今年の4月からグループホームの副施設長としての勤務になる。

●山田 裕一 氏 / 社会福祉士(NPO法人 わかくさ福祉会 就労移行支援事業所ジネス)

認知症高齢者グループホームでの介護や地域包括支援センターでの社会福祉士業務を経て、8年前にわかくさ福祉会に入職。就労継続支援B型に配属。職業指導員、サービス管理責任者。5年前に就労移行支援事業所ジネスに異動。現管理者。事業所は精神障害、発達障害ある方を受け入れ、就労訓練、就活、定着支援を行っている



■JR 中央線・総武線「三鷹駅」南口より徒歩 10 分

《東京会場①三鷹市・フォローアップ研修会 参加申込書》

※切：11月17日(金)

(フリガナ) お名前		ご所属 (事業 種別)	_____	区分
ご連絡先	都 道 府 県 (電話番号： _____)		(_____)事業	<input type="checkbox"/> 会員・賛助会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 当事者・学生
懇親会への参加 参加する() / しない()				
手話通訳等が必要な場合には○をご記入ください		移動等に介助が必要な場合には○と内容をご記入ください		
手話通訳要約筆記等が必要()		必要() / 介助内容(_____)		

- * お一人につき 1 枚の参加申込書をご使用下さい。
- * 参加費 (会員・賛助会員 1,000 円、当事者・学生 500 円、一般 1,200 円) は当日受付にてお支払い下さい。
- * 参加の可否につきましては、申込み多数によりご参加頂けない場合のみご連絡いたします。
- * ごみは各自お持ち帰りいただけますようお願いいたします。

■お申込・お問い合わせ先

NPO 法人このは ガーデニング (担当：近藤) / 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 5-26-13 2F

電話：03-6908-0285 **申込み先 FAX：03-6908-0686**